



平成 19 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社三交ホールディングス
代表者名 取締役社長 奥田 卓廣
コード番号 3 2 3 2
上場取引所 名証第 1 部
問合せ先 取締役 中野 達郎
TEL. 0 5 9 - 2 1 3 - 0 3 5 1

中長期経営計画策定に関するお知らせ

今般、2007 年度を初年度とする三交グループ中長期経営計画（5 ヶ年計画）を、添付別紙のとおり策定いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、平成 18 年 10 月に設立され、グループ基本理念として「三交グループは、お客さまの豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献します」を掲げて事業に取り組んでおります。新たなグループ経営体制での創業期として、グループ各社の基盤確立・強化を図る期間と位置づけ、今回の中長期経営計画を策定しております。

以 上



中長期経営計画

2007年度～5カ年計画

平成19年5月18日

1 . グループ経営方針



持株会社体制によるグループ経営

グループ経営の主体の変化

(事業持株会社) 三重交通 (純粋持株会社) 三交ホールディングス

戦略と事業の分離

戦略策定：三交ホールディングス

事業運営：三交グループ各社（26社）

グループ経営の質の向上

- ・ グループ内経営資源の最適配置
- ・ 事業経営の責任と権限を明確化
- ・ IR活動の強化・充実



三交グループの事業展開（主な事業領域）

	東海圏			首都圏	関西圏
	三重	愛知	その他		
運輸事業	路線バス・貸切バス・運行受託				
	タクシー・通送 自動車管理・自動車整備				
不動産事業	分譲（戸建・マンション）				
	賃貸・管理・仲介・鑑定				
	ビジネスホテル				
流通事業	トラック販売	東急ハンズ			
	ガソリンスタンド・プロパンガス販売				
レジャー・サービス事業	観光ホテル・ゴルフ場 観光道路・ドライブイン・ロープウェイ				
	自動車学校・旅行会社				
建設事業	注文住宅・賃貸住宅・リフォーム				



経営基本方針

収益性の向上

- ・ 事業の高収益化（営業利益率の改善）
- ・ 間接部門の統合

事業規模の拡大

- ・ 売上高増
- ・ 新規事業・周辺事業への拡大・M&A

有利子負債の削減

- ・ 長期保有の棚卸資産の流動化
- ・ グループ内余剰資金の有効活用

ガバナンス（内部統制）の強化

- ・ 安全・安心なサービス
- ・ 情報公開・コンプライアンス

2 . グループ事業戦略



(1) 運輸事業

- ・公共交通機関としての信頼を活かした総合サービス業へ
- ・高速バス路線の拡充
- ・行政サービスの受託
- ・商品開発の強化
- ・タクシー会社合併による効率化の促進

(2) 不動産事業

- ・新規賃貸事業の開発強化
- ・仲介・三交イン・不動産管理事業の強化・充実
- ・大型社有地の流動化による有利子負債の削減
- ・分譲事業の売上400億円体制の維持

(3) 流通事業

- ・店舗のリニューアルによる来店者増
- ・従業員の接客レベルの向上



(4) レジャー・サービス事業

- ・ 既存施設のリニューアル
- ・ 「平城遷都1300年」「式年遷宮」協賛イベントの推進
- ・ グループ各社の相乗効果によるニーズの創出
- ・ 高付加価値サービスの創出
- ・ 新規サービス・商品の提供

(5) 建設事業

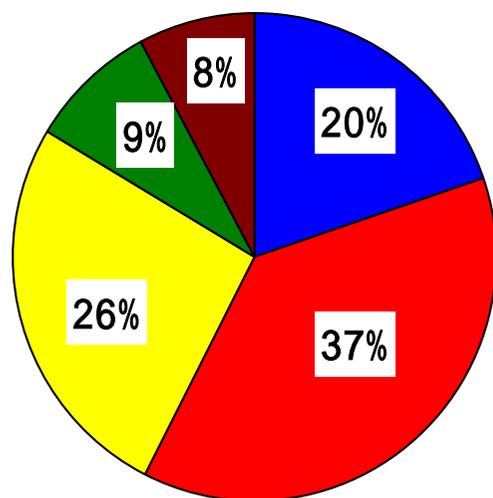
- ・ 分譲建売開発会社・公社への法人営業の受注拡大
- ・ リフォーム事業の営業地域の拡大
- ・ 業務の外注化促進による経費削減
- ・ 関連商品の販売などによる収益拡大

3 . 経営計画

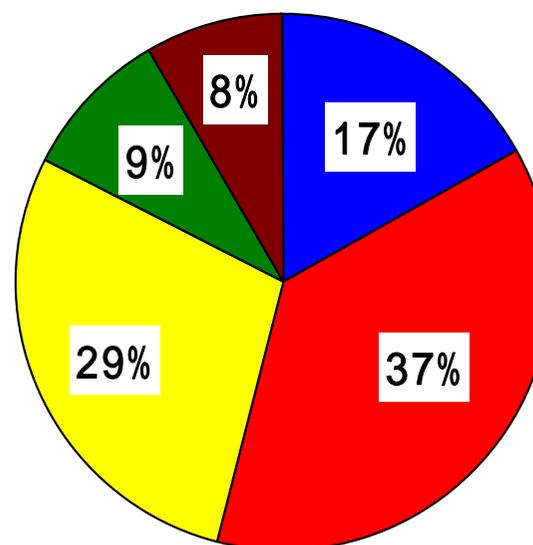


(1) 事業ポートフォリオ (売上高構成比)

2006年度 実績



2011年度 計画



■ 運輸 ■ 不動産 ■ 流通 ■ レジャー・サービス ■ 建設

* 各社セグメントごとの単純合算額による比較



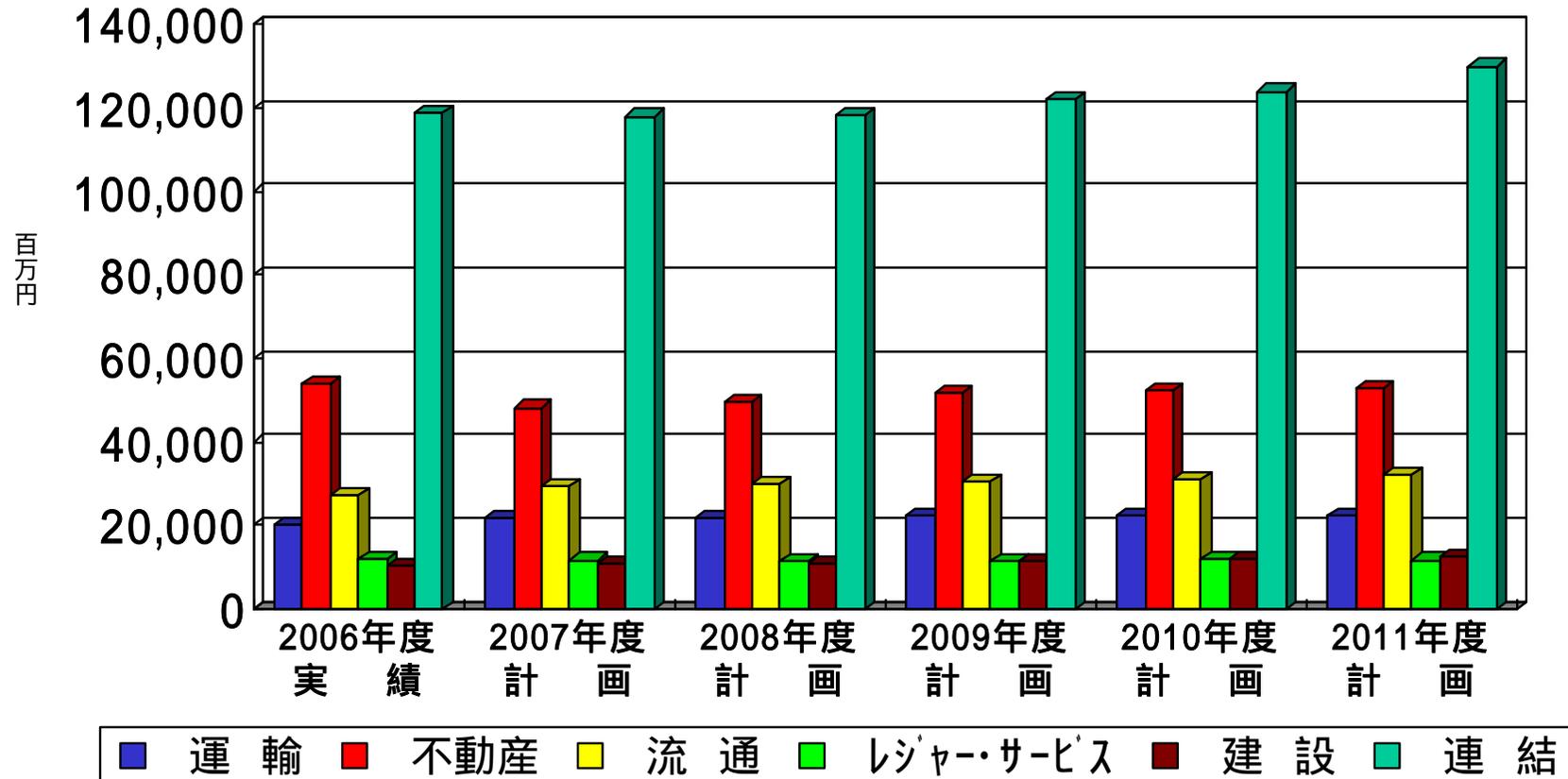
(2) 基本目標

	(実績) 2006年度	(計画) 2007年度	(目標数値) 2011年度
売上高	1,186億円	1,180億円	1,300億円
営業利益	59億円	50億円	65億円
経常利益	48億円	40億円	50億円
当期純利益	20億円	17億円	20億円
営業利益率	5.0%	4.2%	5.0%
連結会社数 (持分法適用会社含む)	34社	27社	—

平成19年4月1日現在

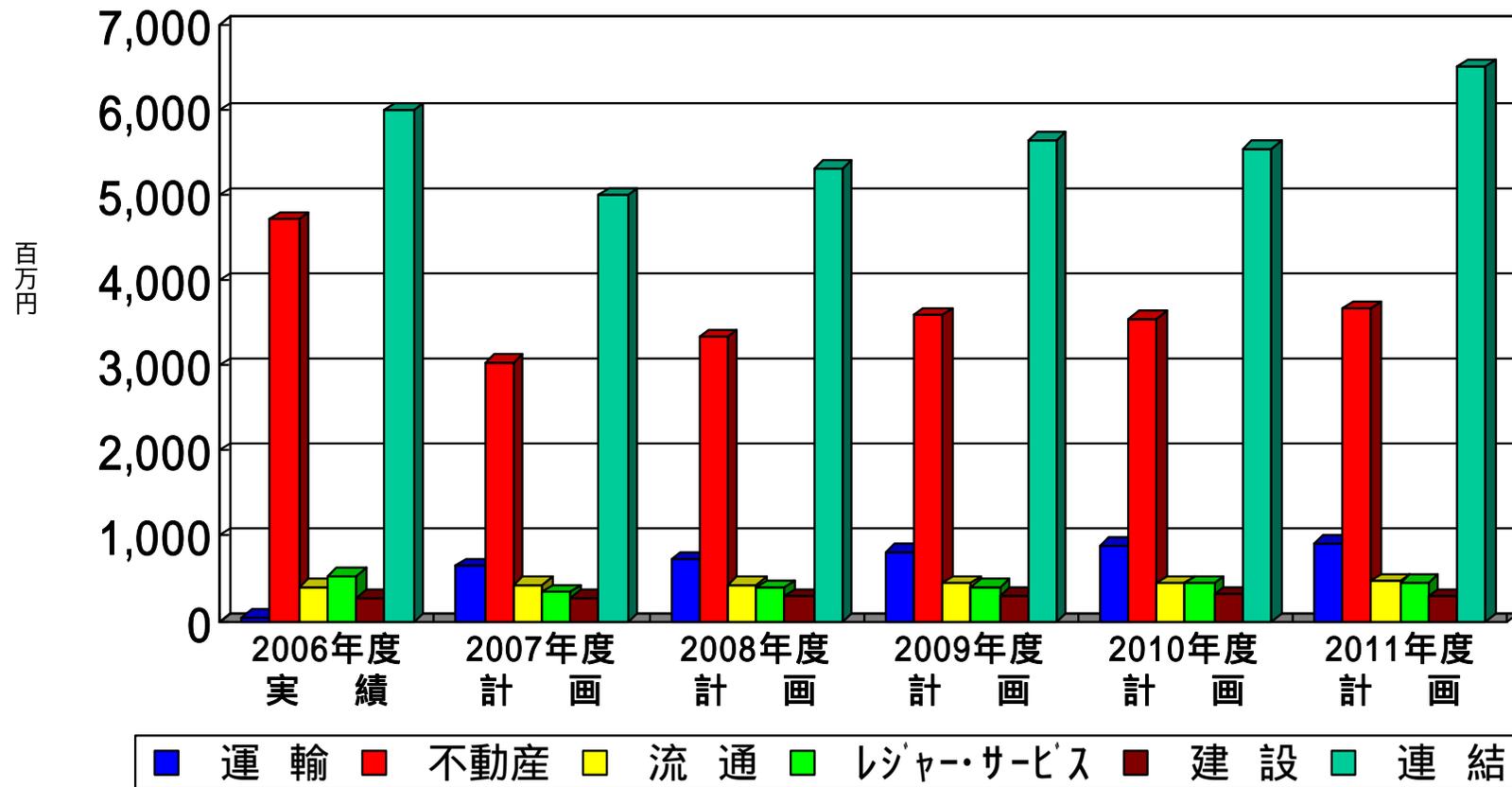


(3) 売上高の推移



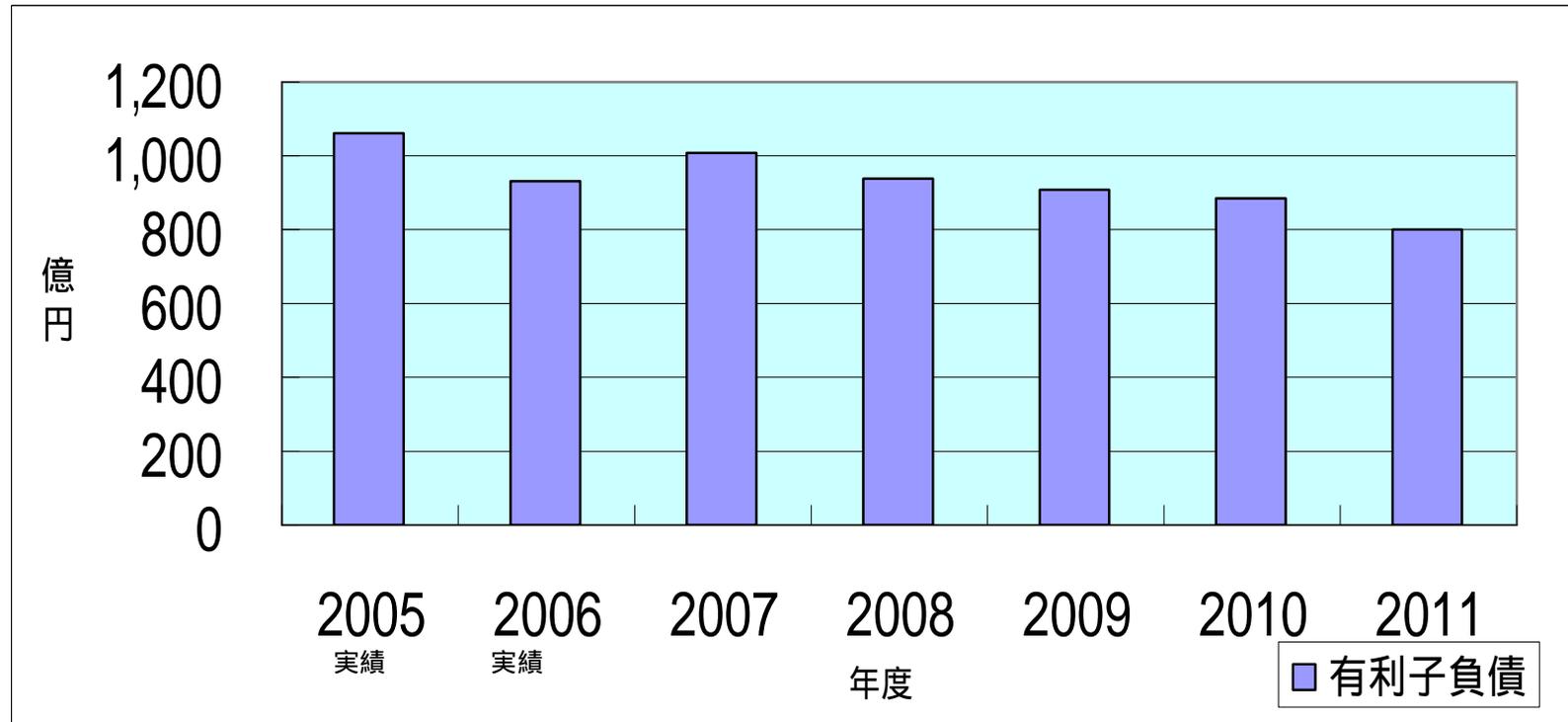


(4) 営業損益の推移





(5) 有利子負債削減計画





(6) キャッシュフロー改善計画

(億円)

	2006年度 (実績)	2011年度 (計画)
EBITDA ¹	96	98
(営業利益)	(59)	(57)
(減価償却費)	(37)	(41)
有利子負債	929	800
有利子負債 / EBITDA	9.6倍	8.2倍

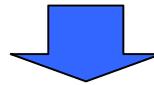
1 償却前利益 (営業利益 + 減価償却費)

金利、税率、会計基準による見かけ上の企業の利益格差を最小限に抑える指標

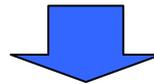
4 . まとめ

(1) 5 年後の目指すべき姿

新たなグループ経営体制での創業期



各事業・セグメントでの地域ナンバー 1 をめざし、この 5 年間は、基盤確立・強化を図る期間と位置づけ、有利子負債の削減と自己資本比率の向上を目指す。



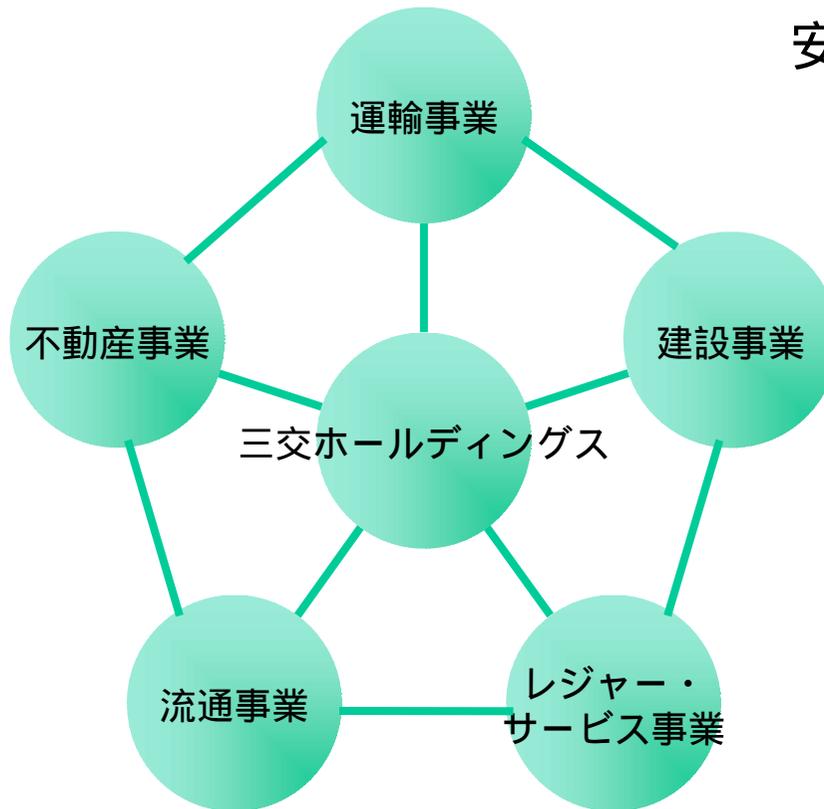
2 0 1 1 年度の目標

売上高	営業利益	当期純利益	有利子負債	D/Eレシオ*	1株当り配当	配当性向
1300億円	65億円	20億円	800億円未満	4倍未満	5円	25%

* D/Eレシオ 有利子負債 / 自己資本



(2) 目指すべき企業像



安定成長を続ける企業グループ

グループの企業価値を高める
グループ経営の推進

- ・ お客様満足拡大
- ・ ガバナンス強化
- ・ 収益力拡大
- ・ 財務体質強化
- ・ 適材適所の人員配置

会社概要

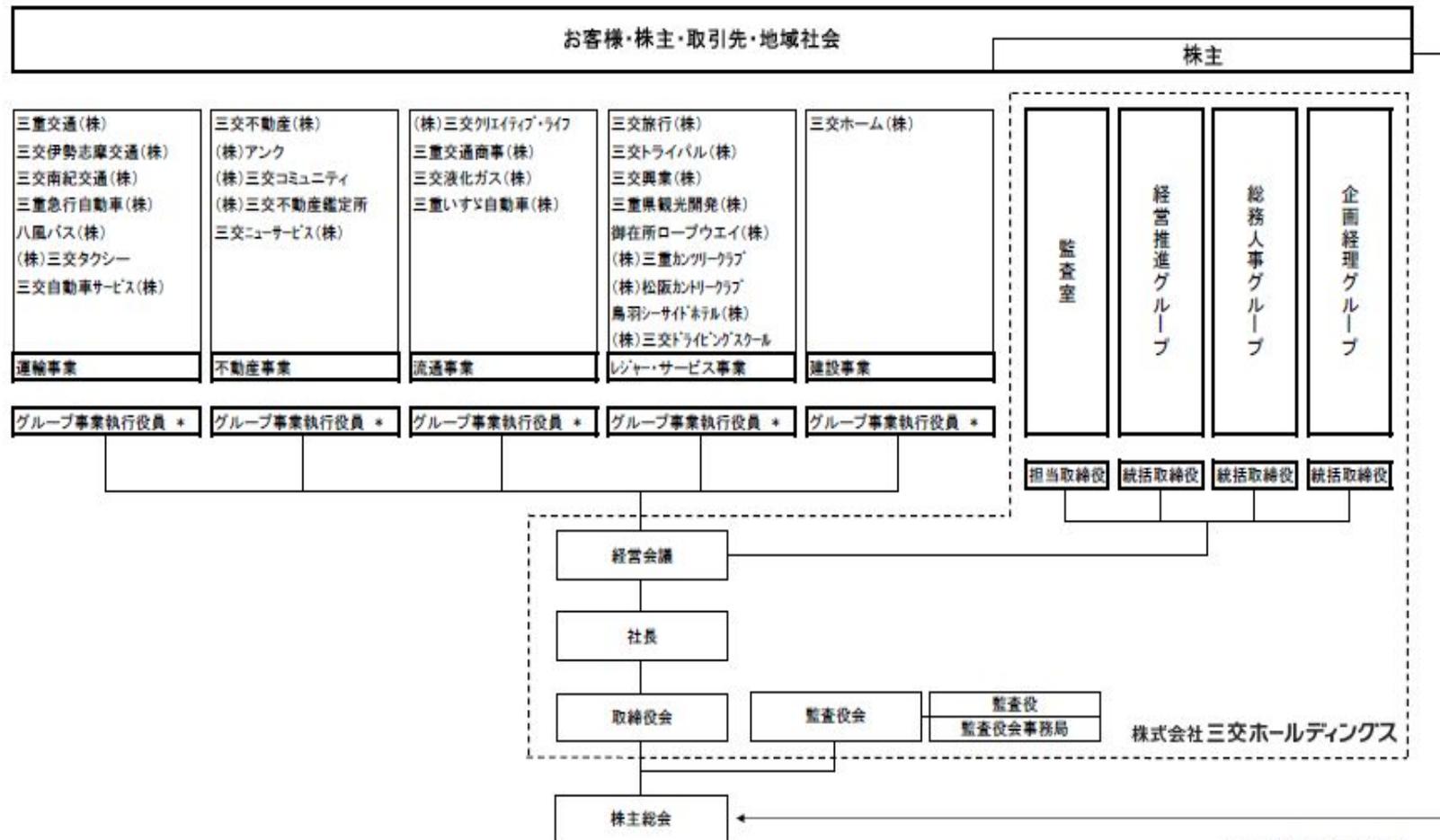
株式会社三交ホールディングス

資本金	30億円
証券コード	3232（名古屋証券取引所）
本社所在地	津市中央1-1
英文社名	Sanco Holdings, Inc.
決算期	3月
設立年月日	2006年10月2日
取締役社長	奥田卓廣



《三交グループ組織図》

平成19年4月1日現在



*グループ事業執行役員は呼称



グループ基本理念

「三交グループは、お客さまの豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献します」

グループ経営指針

- 1．お客さまのよろこびの追求
“お客さまのよろこび”を追求し、新たな価値を提供します
- 2．地域社会への貢献
価値ある事業を展開し、地域の発展に貢献します
- 3．絶えざる自己革新
過去にとらわれず、常に未来に挑戦します
- 4．誠実な企業活動
誠実な企業活動を行い、よき企業市民としての信頼を深めます
- 5．グループ総合力の発揮
互いに協力・連携し、グループの総合力を発揮します
- 6．いきいきとした企業風土
いきいきとし働ける環境を築き上げ、社員の活力を高めます



三交ホールディングスのコーポレートロゴマークは、安心して信頼できる企業イメージを可読性の優れたデザインで表現しています。また、コーポレートカラーは三重の海や空をイメージし、すがすがしく、知的で親しみやすいブルーを選定しています。

うれしいをつないでゆく。

SANCO
HOLDINGS

うれしいをつないでゆく。

SANCO
GROUP

5つの事業領域を通して地域社会に貢献する三交ホールディングスの活動を分かりやすく視覚化したコミュニケーション・ビクトグラムです。ロゴマークだけでは伝えきれない具体的な活動を知的にメッセージする楽しいアイデンティティです。





うれしいを、つないでゆく。

SANCO
GROUP

本資料は、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。

従いまして、今後のさまざまな経営環境等の変化により、実際の業績結果と異なる可能性があります。